



レーザ式腐食分布計

試験片の腐食分布を腐食パターンとして表示できます。

特徴

- スリットレーザを用いることにより、一度に約13mm幅を測定できるため、高速で測定できます。
- 上下挟み込み&キャリブレーションにより、板形状の影響を排除して腐食量を評価できます。
- 腐食量に関する解析ソフトウェアを充実させたため、様々な統計量で定量評価が可能です。

測定方式

サンプル板をレーザ変位計で上下から挟み込んで板厚を測定し、元板厚からの減量を求めることにより、腐食量を算出します。

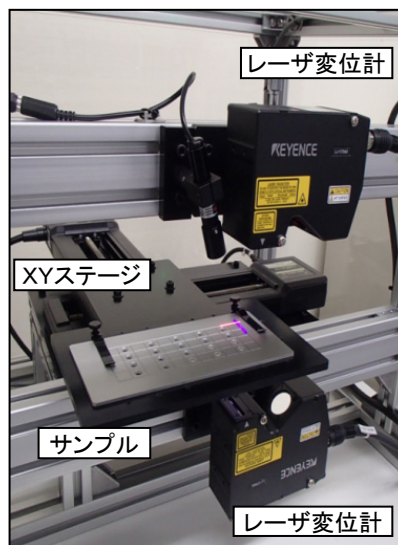
[測定仕様]

- ・ 測定領域：縦100mm×横40mm※
- ・ 測定ピッチ：0.1mm（縦、横とも）
- ・ センサ精度：±16μm
- ・ 測定時間：約45秒

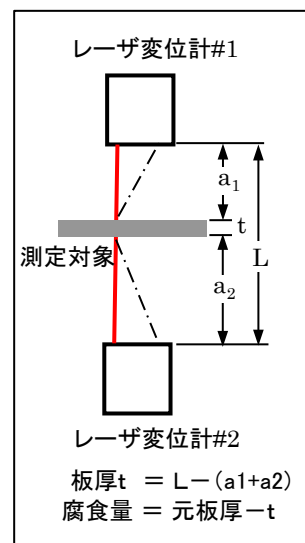
※ 測定領域は変更可能です。

[解析機能]

- ・ 測定量：板厚分布、腐食減量分布
- ・ 統計量データ：ブロック毎の最大腐食量、腐食量分布（ヒストグラム）
- ・ 出力形式：2Dマップ表示、3D鳥瞰図表示、CSVデータ

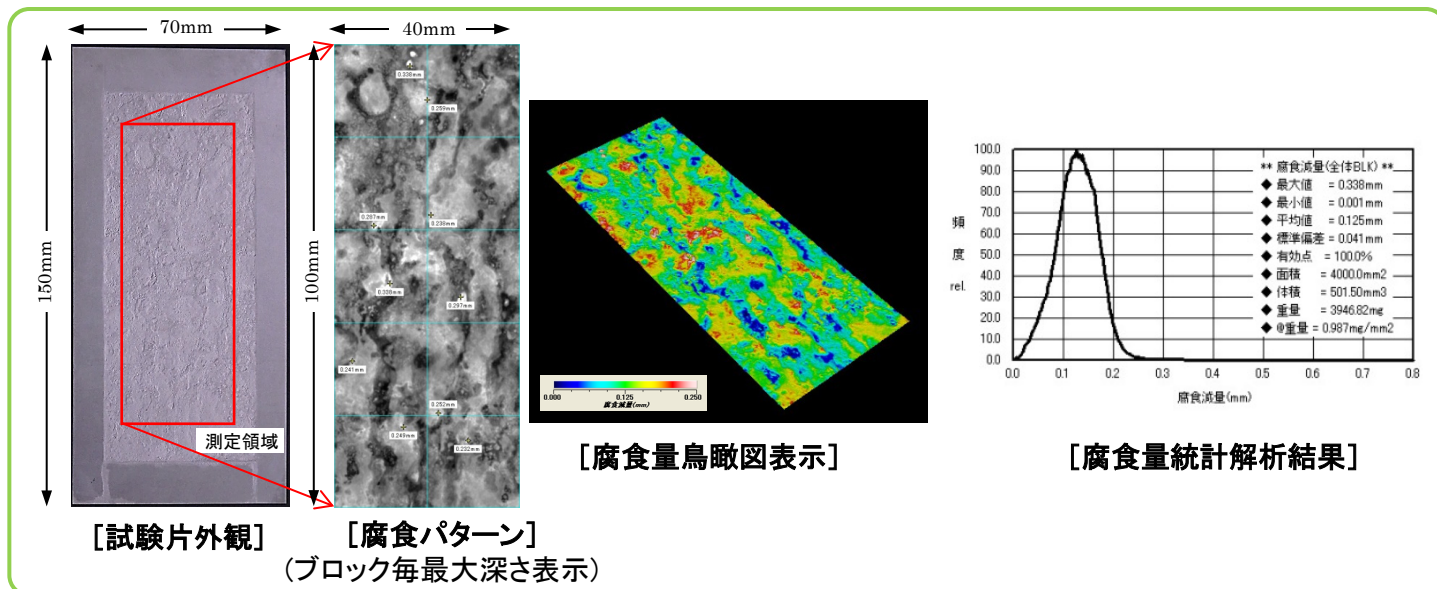


[測定部]



[原理]

測定結果例



※ 本装置はJFEスチールと共同開発したものです(特許6014572)



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2020 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。